

# 台湾 バイテク産業の今

②

## 玉蘭

玉蘭は、台湾では定番のモクレン科の植物。例えば各家庭では門前に花を飾るのが風習だし、女性が髪に飾ったりもする。台北市内と都道府県の意)高樹郷(郷は市町村の意)だけで、台湾全土の3分の2を産出する。北部で商売するには輸送費が嵩む。これが同じ屏東縣に拠点を構える楓荷の利点となる。

35mlで1200元(1元おもしろ高価。一般的には飲料水に1滴たらして香り付けにする。清涼感を増す)そうだが、香水としても十分通用する。「おしゃれな男性」向けに、腰から吊す小さな小瓶に含ませるタイプが好評だ。セットで11308元。

台湾PABP(屏東農業生物技術園區)入居企業を介することで、台湾バイテク産業の「今」に迫る。2回目、前回、楓荷生物科技股份有限公司の続きだ。

楓荷は、様々な植物から抽出した有効成分によって、加工品を作りだし、販売から作られた商品群



直営  
4店舗

# スパでの販促が原動力

楓荷

## 玉蘭オイルマッサージが好評

あわせて販売するが、楓荷では、車内に吊す飾り花とでは直営4店舗のスパ(温泉、健康ランド、エステ)で、低所得者層の重なること、必要な収入源にもなっている。主力商品のいくつかを紹介しよう。

玉蘭の花15kgからわずか3ccしか原液を抽出できない。楓荷は、そのまま香水として販売するが、希釈してコラーゲンやヒアルロン酸と混合させ化粧水にも。

文旦

柑橘ザホンの一種「文旦」の皮からもエッセンシャルオイルを作っているが、10ccで800元と、こちら

薬を乾燥させ、茶ティーバッグにして販売。桑に限らずこのシリーズは、ナチュラル・イースタン・ハーブなど栄養素を混合させ、右機食品の専門店などで売られているという。2.5g×15包入りで2110元。

桑



文旦(左)を含ませた小瓶を腰から吊す。「おしゃれな男性」向け

(岡野)